

2026年1月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ【イタリア出身アーティスト】

📖…ジャズ・ビギナーにおすすめ

	日	曜日	管理ID	ジャケット名	アーティスト	ひとこと
☆	4	日	412	ギド・マヌサルディ・ジャズ・トリオ		初リーダー作。ストウーレ・ノルディン(b)、アル・ヒース(ds)との躍動感溢れる重厚な演奏が堪能できるピアノ・トリオ作品。67年録音。
☆	5	月	3211	セカンド・ローマ・ニューオーリンズ・ジャズ・バンド		バンドがソ連に出発する前夜に録音されたスタジオ・アルバム。心地よいヨーロッパ・ニューオーリンズ・ジャズ♪57年録音。
☆	6	火	427	ホワッツ・ハブニング？	ジョルジオ・アッゾリーニ	イタリアのピアノ・トリオ作品の金字塔的なアルバム。フリー・ジャズの側面もある、非常に洗練されたモダン・ジャズ。66年録音。
📖	8	木	10118	チェット・ベイカー・イン・ミラノ		欧州演奏行脚の中で現地(イタリア)ミュージシャンと共演・録音したセクステット&カルテット音源。ヴォーカル・トラックは無し。59年録音。
	9	金	7941	ライヴ・イン・アンティーブ	ルネ・ユルトルジェ	「アンティーブ・ジャズ・フェスティバル」でのライヴ盤。当時のフランス・ジャズの近況を生で伝えたアルバム。80年録音。
	10	土	7766	ステッピン〜ライヴ・イン・ヨーロッパ	ボブ・バーグ	ペルージャでのライブ盤。ダニロ・レア(p)、エンツォ・ピエトロパオリ(b)、ロベルト・ガット(ds)との共演。82年録音
			19:00〜 ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 「内田修ジャズ・LPレコード・コレクション」で伝説のジャズ・レーベル『スリー・ブラインド・マイス(TBM)』を聴く／第10回：中本マリ、山本剛、鈴木勲			
☆	11	日	429	アン・アモーレ	ジョルジオ・ガスリーニ	ディノ・ブッツァーティの小説を原作とした、ジャンニ・ヴェルヌッチョ監督作「un amore」のサントラ。65年録音。
	12	月	11969	ケニー・クラーク		イタリアの名門レーベル「ホロ・レコード」に残した傑作アルバム。イタリアン・ジャズ・サンバの名曲「ビッグ・バン」(A-3)等収録。75年録音。
☆	13	火	3671	クォーターション・マークス	エンリコ・ラヴァ	「欧州系のモード・ジャズとアルゼンチンタンゴとの融合」を図ったフュージョン・ジャズ・アルバム。73、74年録音。
☆	15	木	422	ジャズ・イン・スタジオ	エンリコ・イントラ	EPデビューから数枚のレコードを自国イタリアからリリースしていたものの、12インチLPとしては最初の作品。62年録音。
☆	16	金	433	カルテット	カルテット・ディ・ルッカ	カルテット編成を生かしたクールでグルーヴィな編曲と、ホットなソロとを同時に楽しめる素晴らしい内容の一枚。61年録音。
☆	17	土	435	ニュー・サウンド・フロム・イタリー	バツォ = ヴァルダンブリーニ・オクテット	ハード・バップ〜ウエスト・コーストの影響下にあったイタリアのジャズメンによる、アンサンブルを主体に聴かせるアルバム。59年録音。
☆	18	日	9392	ナイト・ミュージック	ジョージ・ウォーリントン	アトランティックに残した貴重なピアノ・トリオ・アルバム。この録音の翌年にウォーリントンは音楽業をあっさり引退。56年録音。
☆	19	月	426	マイ・ポイント・オブ・ヴュー	エラルド・ヴォロンテ	コルトレーンの影響を色濃く反映した一枚。レナート・セラーニ・トリオをバックに、モード・フレーズを吹き連ねるワンホーン作品。63年録音。
☆	20	火	100219 (CD)	ウェン・ユー・ウィッシュ・アポン・ア・スター	ファンタスツ	「サ・バ・レーベル」のプロデューサー、伊藤秀治発案の企画により制作された“癒し”アコースティックス・ジャズ。03年発表。
☆	22	木	432	ジャズ・アロ・スタジオ 7	ロマーノ・ムッソリーニ	A面に4管をフロントに配したセプテット、B面にピアノ・トリオの演奏を収録したアルバム。62年録音。
☆	23	金	411	ペッピーノ・プリンシペ・カルテット		イタリア国内外で人気を博し、イタリアン・ジャズの歴史の一部を形成したアコーディオン奏者の作品。71年発表。
	24	土	11967	フランク・ロソリーノ		ローマで録音されたセッション・アルバム。ブルーノ・トンマーゾ(b)、エンリコ・ピエラヌンツィ(p)等参加。73年録音。
			19:00〜 ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 「内田修ジャズ・LPレコード・コレクション」で伝説のジャズ・レーベル『スリー・ブラインド・マイス(TBM)』を聴く／第11回：和田直、菅野邦彦、森剣治			
☆	25	日	9494	アット・ザ・リビング・ルーム	マルコ・デ・マルコ	ジャッキー・サムソン(b)、シャルル・ソドレ(ds)という強者が脇を固めた、極上のピアノ・トリオ・アルバム。73年録音。
☆	26	月	7932	マックス・ムード	マッシモ・ウルバーニ	36歳でこの世を去った天才サキソフォニストが、敬愛するアルバート・アイラーとジョン・コルトレーンに捧げた作品。80年録音。
☆	27	火	HC1419 (CD)	インディペンデントリー・ブルー	ローラ・フェデーレ	ミラノのラジオ「ボボラーレ」のデメトリオ・ストラツス講堂で2夜に分けて行われたライブ録音盤。全曲ニーナ・シモンの楽曲。04年録音。
☆	29	木	407	イニュータイル・ディスクテレー	ジョルジョ・ブラッティ	ジャズ・クラブ「パイパー」とプライベート・ジャズ・スタジオ(ブラッティの自宅)でのライブ録音盤。68年録音。
☆	30	金	10865	ザ・ウィザード	パット・ラバーベラ	初リーダー作。ローランド・プリンス(g)、アンディ・マックラウド(b)、ブルーノ・ピリアコ(ds)参加。78年録音。
☆	31	土	424	キタツラ	フランコ・チェリ	イタリア・コロムビアに残した初期代表作。「ボルカ・ドッツ・アンド・ムーンビームス」「マイ・フーリッシュ・ハート」等収録。64年録音。

◆ コンサートの内容は、変更になる場合がございます。何とぞご了承ください。